

機能性表示食品の事後チェック指針

「機能性表示食品に対する食品表示等関係法令に基づく事後的規制の透明性の確保等に関する指針(事後チェック指針)」

“企業が届出する際の注意点”と“規制や制度に関する視点”

日時

2021年

10月19日(火)

14:00~16:30

参加費
無料

定員20名

配信方法

Zoomによるオンラインセミナー(ライブ配信のみ)

受講対象者

機能性表示食品を届出済企業ならびに検討している企業
支援機関および大学・高専関係者など

※要申込
申込締切10/18

2015年から施行された機能性表示食品制度ですが、2020年に事後チェック指針が公表されました。事後チェック指針は大きく3つに分けられます。

- ①科学的根拠に関する事項
- ②広告その他の表示上の考え方
- ③届出資料の不備等における景品表示法上の取扱い

機能性表示食品制度へ届出前・届出後に、注意すべきポイントについて解説いたします。関連法規の内容や変化を理解し、届出者や関連企業・団体等が取り組む対策について理解が深められる内容となっております。是非ご聴講ください!

<< プログラム >>

14:00~14:10 はじめに・事業説明

第1部

事後チェック指針とは (届出および広告作成時の注意点)

14:10~15:10

事後チェック指針が何故重視されるのか? 事後チェック指針の背景を踏まえ、事後チェック指針の内容についてご解説頂きます。ガイドラインや実証された根拠を裏付けとして届け出された機能性の範囲から逸脱した場合、食品表示法、景品表示法、健康増進法等、重畳の規制によりの各法令上問題になることがあります。届出及び広告等作成する上で事業者が気をつける点について解説いただきます。



株式会社
グローバルニュートリショングループ
代表取締役
武田 猛 先生

第2部

科学的根拠の考え方 (ヒト臨床試験設計および論文の注意点)

15:20~16:20

機能性表示食品の科学的根拠に関する基本的な考え方、科学的根拠を実証する上でのヒト臨床試験の設計・UMIN登録・論文への投稿等の一連の注意点、届け出された科学的根拠として臨床試験や研究レビュー(システマティックレビュー)での不適切な例、判断に苦慮する難しい事案等について解説いただきます。



関西福祉科学大学
栄養福祉学科
講師
竹田 竜嗣 先生

※消費者庁のウェブサイトより、

・機能性表示食品に対する食品表示等関係法令に基づく事後的規制(事後チェック)の透明性の確保等に関する指針

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_with_function_claims/pdf/about_foods_with_function_claims_200324_0003.pdf

・機能性表示食品の届出マニュアル及びガイドライン

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_with_function_claims/assets/foods_with_function_claims_210322_0002.pdf

予めご一読
下さい!

事務局/健康食品ブランド化推進強化事業 共同企業体
(株式会社沖縄TLO、一般社団法人 トロピカルテクノプラス、公益財団法人 沖縄県産業振興公社)
協力/一般社団法人 沖縄県健康産業協議会

お問い合わせ
お申し込み先

公益財団法人 沖縄県産業振興公社 [担当:金城(文)、富川]

電話:098-859-6236 (受付時間:8:30~17:15)



講師紹介 <第1部>

■ 講師

株式会社グローバルニュートリショングループ
代表取締役社長

武田 猛 (たけだ たけし) 先生

■ 略歴

麻布大学環境保健学部卒業、法政大学大学院経営学専攻修士課程修了。

アピ(株)、サニーヘルス(株)を経て2004年1月、(株)グローバルニュートリショングループ設立、現在に至る。国内企業の新規事業の立ち上げ、新商品開発、マーケティング戦略立案などのコンサルティングや海外市場進出の支援、海外企業の日本市場参入の支援を行う。現在まで、国内外合わせて600以上のプロジェクトを実施。

機能性表示食品普及推進協議会 会長

(独) 中小企業基盤整備機構 国際化支援アドバイザー
一般社団法人ウェルネスフード推進協会 評議員



講師紹介 <第2部>

■ 講師

関西福祉科学大学 健康福祉学部
福祉栄養学科 講師

竹田 竜嗣 (たけだ りゅうじ) 先生

■ 略歴

2000年近畿大学農学部農芸化学科卒業

2005年近畿大学大学院農学研究科応用生命化学専攻博士後期課程 満期退学

2005年 博士(農学)

博士取得後は、食品CROにて食品及び化粧品の臨床試験業務に携わり、京都先端科学大学バイオ環境学部 実験助手、横浜薬科大学客員講師を経て、2018年より関西福祉科学大学健康福祉学部福祉栄養学科 講師

専門分野：食品機能学、生物統計学



様々な疑問・悩みなどの「課題解決」に向け
プラットフォーム(4機関)がサポートいたします!

対応支援機関
《プラットフォーム》

- (一社)沖縄県健康産業協議会
- (一社)トピカルテクノプラス
- (株)沖縄TLO
- (公財)沖縄県産業振興公社

支援内容の詳細
及び相談窓口は、
配布資料をご覧ください。

配布資料へGo ▶▶▶

詳細は
HPでチェック



<https://www.wellness-okinawa.jp/>



「WELLNESS OKINAWA JAPAN」は

**健康食品の
良品選択**の目印です